



03 経団連会長 中西宏明氏
コロナ克服し 成長路線



04-05 変革の時代 危機をチャンスに 迎えて
コロナ・米新政権・脱炭素
一。本紙記者が、テーマごとに
2021年の方向性を示す。

24 地銀再編一地ならし着々
地方銀行に、政府や日銀から
再編の「圧」が強まっている。
SBIの地銀連合に存在感。

アキレスは あきらめなイズム。
Achilles アキレス株式会社



日刊工業新聞

THE NIKKAN
KOGYO SHIMBUN

1月1日 金曜日
2021年(令和3年)

TODAY

30 につぼん再構築



「産ロボ」飛躍の条件整う
産業用ロボットにとって2021年は、回復・成長のための好材料がそろそろ。足元では自動車向けが回復基調にあり、半導体製造装置やIT関連を含めた一般産業機械向けが堅調を維持。自動化需要をいかに取り込むかも重要なポイントになる。

- ### につぼん再構築
- 07 商社一持続可能な魚養殖
 - 09 脱炭素一供給網変革/自動車
 - 12 匠の技担う一機上計測・AI
 - 13 造船、荒波覚悟の合従連衡
 - 15 電機一再生エネに商機
 - 17 ドコモ、携帯通信の変革先導
 - 19 新型コロナ対策一長期戦
 - 21 ワクチン安定供給一進む連携
 - 22 技術革新に挑む一エネルギー
 - 25 東北大、震災10年で新生
 - 28 東京都一新しい日常で成長
 - 29 大阪府一実証都市確立へ

02 コロナ禍の中小支援
08 丑年生まれの経営者
27 経営者が語る④

23 駅でインキュベート
新幹線物流一新幹線で運んだ鮮魚をエキナカで販売する実証



大災害時のID発行について
大規模自然災害で印刷所からの新聞輸送に支障が生じた際は、月々購読者に限り電子版が一時的にご覧いただけます。ウェブサイトhttp://www.nikkan.co.jpからお入り下さい。
日刊工業新聞社
www.nikkan.co.jp

新たな成長シナリオ描く

コロナで変わる産業構造

2021年は日本経済の再構築を目指す年になる。コロナ禍は従来の産業構造を否定し、世界景気に未曾有の打撃を与えた。各国の経済・通商政策も内向志向が強まり、米中経済のデカップリング(分離)すら囁かれる。一方、この新潮流を踏まえてビジネスモデルの転換やサプライチェーン(供給網)の見直しを推し進めれば、新たな競争力を身に付ける好機にもなる。逆境をハネにし、再び成長するための基礎づくりが急がれる。

(4、5面に関連記事)

グローバル経済の姿



東南アジアやインドなどで重層的なサプライチェーン構築がカギとなる
(日系工場の立地が多いタイのアマタシティ・チョンブリ工業団地)

米中のデカップリングは日本企業にも経済安全保障への対応を迫ることになる。部品や資源の調達を中国一國に依存すれば、有事の際にサプライチェーンが寸断しモノづくりに影響を及ぼす。米中対立はデジタル市場における中国の不当な政策もあぶり出した。中国製品を通じてデータを抜き取るバックドア(裏口)の問題などサイバー上の脅威が高まっており、産業界におけるデータ活用の果実を搾取されるリスクが浮上している。

官民で地産地消／新市場開拓

「政府の有識者会議 企業になり、どんどんがなくならないよう、では(最低賃金の引き上げや統廃合の促進など)いろいろな議論が出てくるが、私が菅義偉首相から直接言われたのは「中小企業の経営基盤強化」だ。ベンチャーや中小企業が中堅買収を促す税制を創設し、業況が良くなると、業態を変えないといけない業界がある。技術力や人材の開発を応援して、こうした技術開拓を中長期的に行うための2兆円の基金を創設する。」

「まずは電動化を進めることが第一。そのと、地域住民・国民の信頼回復という二つの課題がある。今は信頼回復に注力しないといけない時期だ。」

「輸送部門では電気自動車(EV)やハイブリッド車(HV)の普及がカギを握り、これらの研究開発や設備投資の支援は国が検討する。」

ロボット受注4%増

今年見通し 8840億円 自動化需要底堅く

ロボット工業会

「明けておめでとうございませう。こけ止め前を向いて最善な平凡な賞詞を口にしようものなら「コロナの哲学者」ニパーナの収束も見えず、長は「われらに受けるべき年が明けただけ。何とできないものを受かた」と叱られた。閉塞感はいっせいで、勇気を与えようとする。両者を識別する。あらゆること。さらけ出した。日刊工業新聞社

大雪のため、特別輸送体制をとりましたが、一部地域で配達が遅れることがあります。記事が重複することがあります。あらかじめご了承ください。日刊工業新聞社

供給網を強靱化

「新しいコロナウイルスの感染拡大で気付いた方がよい。また部品工場を残している、何か事情があった場合、来なくなる恐れがある。」

「政府は「新たな日常」に向けた成長戦略を開始する。コロナ禍で寸断したサプライチェーン(供給網)や不振に陥った中小企業には、再構築を促す政策に乗り出す。一方、「カーボンニュートラル」の世界的な潮流を踏まえ、研究開発を支援する基金など大型予算を編成。自動車分野では2030年代半ばまでに新車販売を全て電動車にする計画も策定した。これを主導する樺山弘志経済産業相に方針を聞いた。

モノづくり再構築 支える

経済産業相 樺山 弘志氏




「業態を変えないといけない業界がある。技術力や人材の開発を応援して、こうした技術開拓を中長期的に行うための2兆円の基金を創設する。」

「業況が良くなると、業態を変えないといけない業界がある。技術力や人材の開発を応援して、こうした技術開拓を中長期的に行うための2兆円の基金を創設する。」

記者の目

大きなつねり、進化の契機に
日本は産業構造の大転換期を迎えた。コロナ禍は日本企業にビジネスモデルの変革を迫り、カーボンニュートラルの大方針は中長期的な成長シナリオの再考を求めている。旧来の事業や発想に固執し、新潮流に対応できない企業は淘汰されかねない。経営のあり方をいま一度見直し、進化を遂げる契機にしたい。

(編集委員・敷田貴明)



NACHI

夢をかなえるものづくりで、「革新」のその先へ。
不二越は、世界に誇る多彩な技術で夢をかなえるものづくりに取り組んでまいります。本年も、よろしく願い申し上げます。

株式会社 不二越 www.nachi-fujikoshi.co.jp